

令和 8 年度(2026 年)第 4 回 ハラスメント防止研修 実施報告書

1. 研修実施概要

- 実施日時:2026 年 10 月度(定期研修)
 - 研修形式:労働者向けハラスメントオンライン研修 & 新体制運用シミュレーション
 - 対象者:全従業員(役員、正社員、現場スタッフ、事務員)
 - 使用教材:株式会社中原建設 2026 年改訂版ハラスメント防止対応マニュアル、新旧対照対応表
-

2. 研修テーマ

「2026 年 10 月改正法施行に伴う新体制の完全移行と現場運用の徹底」

3. 研修カリキュラム・教育内容

① 改正労働施策総合推進法等の施行に伴う最終体制の共有

- 2026 年 10 月より施行された改正法および国の新指針に合わせ、当社のハラスメント防止体制が公式に新体制へ完全移行したことを従業員にアナウンスしました。
- これまで「先手対応」として準備・実施してきた 3 ヶ月に 1 度の研修体制や各種ガイドラインが、今月より公的なコンプライアンス基準として全社で完全適用される背景と重要性を再確認しました。

② 社内ルール・マニュアルの改訂点の落とし込み

- 新法に完全準拠する形でアップデートされた当社の最新ハラスメント防止対応マニュアルの変更点を解説しました。
- パワハラ・セクハラの判断基準の厳格化に伴い、日頃のコミュニケーションにおける「言葉の選び方」や「業務指導時の適切なフィードバック手順」を新旧対照表を用いて細かく確認しました。

③ カスタマーハラスメント(カスハラ)新指針の運用徹底

- 当社の方針である「社内にとどまらず、社外の者からの暴言暴力行為は断じて許さない」という基本姿勢に則り、新指針に基づく現場でのカスハラ対応をシミュレーションしました。
 - 万が一、発注者や元請け、周辺住民等から不当な要求やハラスメントを受けた場合、従業員個人で判断せず、速やかに改訂されたエスカレーションフローに沿って会社(コンプライアンス・ヘルプライン)へ即時報告・組織対応を行うプロセスを周知徹底しました。
-

4. 2026 年度および長期定期研修の総括

これまで継続して周知を行ってきたことで、社内における各種ハラスメントの防止意識が従業員の間でしっかりと定着しています。また、法改正に合わせたカスタマーハラスメント(カスハラ)への組織的な対応フローについても、社内への浸透が完了いたしました。

今後もこれまでに整えた相談窓口(コンプライアンス・ヘルプライン)を適切に運用し、全員が安心・安全に働ける職場環境を守っていきます。